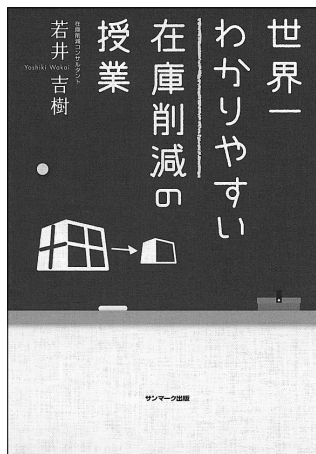


世界一わかりやすい在庫削減の授業

講義形式で楽しく在庫削減のポイントが学べる 「成果を挙げる人」になるための実践書



著者／若井吉樹
出版社／サンマーク出版

新卒で入ったセガ・エンタープライゼスで、ゲームセンターで勤務中、先輩から実に貴重なアドバイスを頂いた。それは、「景品はくさる」ということだ。縫いぐるみやマグカップが物理的に腐ることはないのだが、実際には売れなくなつて、企業の経営を圧迫する。

だから、会社は unnecessary 在庫を持つ人間を評価しない一方で、この在庫を削減できる人間を重宝する。しかしながら不思議なことに、この「在庫削減」をきちんと理解するビジネスパーソンは意外なほど少ない。

本書は、NECで過去3000億円の在庫削減を達成し、コンサルティングとして100社以上のコスト削減を指導してきた著者が、その在庫削減の極意を、分かりやすい講義形式でまとめたいもの。架空のヤマツミ商事の貝杉社長と、コンサルティングのやりとりを読みながら、楽しく在庫削減のツボと手順が学べる、実に実践的な一冊だ。しかも、この本の流れに従って在庫削減を進めていけば、本当に在庫削減が実現できる。

見た目の派手さと成果は比例しない。成果を挙げる人になるために、ぜひ読んでおきたい実践書だ。

図で考えるとすべてまとまる

企画書づくりに悩む人のための「図」で考える技術を公開した注目の一冊



著者／村井瑞枝
出版社／クロスメディア・パブリッシング

新入社員の多くは、いきなり上司やクライアントから「調べろ」「考えろ」「提案しろ」と言われても、戸惑ってしまうだけだろう。

だが、外資系コンサルタントの「図で考える」技術があれば、企画書づくりはグンとラクになるはず。

本書は、JPモルガン、ボストンコンサルティンググループを経て、現在、ミシユラン3ツ星レストランをプロデュースするグループ企業の戦略プロデューサー、村井瑞枝氏が、戦略コンサルティングの「図で考える」技術を公開した、注目の本である。

売上げアップ案を考えるのに有効な「因数分解のパターン」、新製品のセールスポイントを導き出す「比較のパターン」、時間を可視化し、スケジュール管理を容易にする「線表のパターン」など、実際の仕事に役立つ便利なパターンが、全部で7つ紹介されている。

あるコンサルティング会社でテキストとして採用し、新人教育に役立てているとのことである。プロコンサルティングの「考える技術」を盗みたいという方には、自信を持って本書をお薦めする。